

令和 8 年度 第 2 回用瀬地域振興未来会議 議事概要

【開催日時】

令和 8 年 7 月 3 日（金）午前 10 時 00 分～12 時 00 分

【開催場所】

用瀬町総合支所 3 階第 1 会議室

【参加者】

出席委員 西川功美、山下和彦、平井育子、寺崎健一、西尾とよ子、岸森孝弘、入江真知子、
西村 勝、石井 敏、田中聡
以上 10 名（敬称略）

事務局 太田用瀬町総合支所長、金谷副支所長、浜部産業建設課長、安田市民福祉課長
遠藤地域振興課課長補佐、堺地域おこし協力隊

関係課 こども家庭センター（森田所長、太田係長）
校区審議室（岡部室長、石川主任）
教育委員会 佐治町分室（下石分室長）
交通政策課（宮谷課長、井上主事）

傍聴者 なし

【次第】

- 1 開会
- 2 会長・支所長あいさつ
事務局等職員紹介
- 3 議題・報告事項
 - （1）乳幼児健康診査の実施体制の見直しについて（こども家庭センター）・資料 1
 - （2）千代南中学校校区の各校の児童・生徒数の現状等について（校区審議室）・資料 2
 - （3）JR による駅舎等の更新について（交通政策課）・資料 3
 - （4）もちがせ地域未来プラン実施計画（R7 実績・R8 計画）について・資料 4
 - （5）地域の重点課題検討について・資料 5
 - （6）その他

3 議題・報告事項等

- （1）乳幼児健康診査の実施体制の見直しについて（こども家庭センター）

資料 1 により、実施会場の中央一元化について説明。

（委員）

「遠くなることで不便になる、半休や丸一日の休暇が必要になる」などの意見はあるか？

(こども家庭センター)

現在、アンケートの集計中ですが、そのような意見も出ています。今後の未来会議で結果を共有する予定です。

(委員)

資料に「受診者が一定数集まることで医師や専門職による支援体制が充実する」とあるが、具体的な充実内容は何か。

(こども家庭センター)

専門職の人数が増え、多くの目が入ることで、より専門的な対応が可能になる。

(委員)

健診の実施回数はどうなるのか。

(こども家庭センター)

現在、南ブロック（河原・佐治・用瀬）では2カ月に1回の開催ですが、中央では月3回実施しているため、全体の開催回数自体は増えることになります。

現状の南ブロックの2カ月に1回の開催では、その日都合が悪かった場合、次の受診が最長で4カ月先になってしまい、適切な時期に受診できなくなるという課題がありました。そういうことから（乳幼児健診の）一元化を進めていきたいと考えます。

(委員)

乳幼児健診時に上の子を預かる託児施設はあるか。

(こども家庭センター)

駅南庁舎には託児施設はありませんが、保育士やボランティアが子どもさんの対応に当たっています。状況としては、6カ月健診は上のお子さんと一緒に会場に来られることがありますが、1歳以上になると、就園しておられるお子さんが多いため、健診対象以外のお子さんを連れてこられることは少なくなってきました。

(委員)

駅南庁舎は駐車場の1台あたりの区画が狭く、ベビーカーの利用や車の乗降が困難。健診時に広い専用スペースの確保は可能か？

(こども家庭センター)

駅南庁舎の駐車場は、屋根がついているというメリットがあります。現状は時間帯をずらして対応し、30台程度の駐車場は確保されており、駐車場に余裕がない状況ではないです。

(委員)

保健師の各支所配置は継続されるか？管理栄養士が支所から減っているが今後の計画は？

(こども家庭センター)

保健師は今後も各支所1名ずつ配置し、母子保健事業を充実させていきたいと考えています。

(2) 千代南中学校区の各校の児童・生徒数の現状等について（校区審議室）・資料2

資料2により現状と今後の取組について説明。

(委員)

保護者が統合を検討する意向が強いのに、議論が長引いている。もっと早く結論を出してほしい。

(委員)

学校区再編委員会は今後設置されるのか。

(校区審議室・佐治町分室)

千代南中学校区については、まず任意団体の「考える会」があり、この中でこういう形で進めた方がいいじゃないかという要望書をまとめます。その後、必要があれば千代南中学校区再編検討委員会が設置されるという流れになります。

今は地域の意見を吸い上げる「考える会」を再開させる準備段階です。

(委員)

いつごろ開催の予定か。

(校区審議室・佐治町分室)

委員選出後、8月に開催したいと考えています。

前回、保護者の意向があまり反映されていなかったのではという反省があったため、そうならないよう進めていければと思います。

(委員)

複式学級でも良いから小学校を残してほしいという意見が出ると、なかなか議論が先に進まないということがある。

(委員)

義務教育学校のメリットやデメリットを保護者に十分説明していないため、意見を形成しづらい。もっと情報を提供して欲しい。

(校区審議室・佐治町分室)

今回は、佐治小学校と用瀬小学校の統合がどうかというところが一番の目的でした。義務教育学校についてはその先の議論になりますが、特徴がわからないと意見は出せないと思いますので、今後、教育委員会として保護者への義務教育学校のメリット・デメリットの情報提供の仕方を検討していきたいと思います。

(委員)

保育園から小学校、中学校まで一貫して同じメンバーになると、人間関係が固定されてしまうのではという不安がある。

(校区審議室・佐治町分室)

保育園からスタートして中学卒業まで、十数年間一緒になることになります。それがデメリットといえばそうなのですが、メリットもやはりあると思います。デメリットのみフォーカスするのではなく、どちらが良いか考えていくことは必要だと思います。

(委員)

用瀬小学校に通っていた児童全員が千代南中学校へ進学するかといえばそうではない。附属や青翔開智、来年度は新しく城北中学校もできる。

そういったなかで例えば、ホッケーや吹奏楽など各中学校で特色ある部活に力を入れて、市全域で希望する中学校に通える選択制を導入し、子どもたちの可能性をさらに広げるような仕組みを作ってみては。

(校区審議室・佐治町分室)

部活動については、全国的にあり方を検討する中で、競技ごとに集まって合同で活動し、レベルアップを図る方法等の検討が行われているようです。

他校への生徒の進学状況などの影響も加味しながら、皆さんの意見を反映させて方針を考えていきます。

皆さんが子どもの視点に立って、真剣に意見を交わしてくださったことを、大変嬉しく受け止めております。いただいたご意見については、今後の「考える会」の中で改めて検討を進めていく予定です。

今後ともご支援をよろしくお願いします。

(委員)

現在の保護者の意見も重要だが、乳幼児世代など、将来の保護者の声も反映して欲しい。

(校区審議室・佐治町分室)

今後の影響が一番大きいのは現在の保育園児や小学校1年生などです。そのため、「考える会」のメンバーには、もちがせ保育園の園長先生や保護者の方からの代表に入っていただきたいと考えています。

(委員)

日本全体として財政も厳しくなっていく中で、最終的に学校が集約されていくのは仕方ないこと。行政主導でプッシュしていかないと結論が先延ばしになっていくばかり。

統合の話はもうすでに何年にも渡って議論されている。委員会の設置も無いのは用瀬だけなので、要望を待たずして作るなど、早めに決断・方向付けをしていくべき。

(校区審議室・佐治町分室)

佐治地域ではトスクが閉店し、佐治保育園も休園となり、中学校もなくなりました。かつて一つの自治体であったこの場所から、様々なものが失われているのが現状です。

千代南中学校区の考える会では、こうした地域の実情や、子どもたちの思いにも配慮しながら進めていただきたいと思います。

(委員)

地元小学校がなくなるということは、例えば移住を検討する上でもなかなか選択肢となることが難しくなってくる。用瀬は、どこかよその問題のような意識があって、危機感を持っていない。この問題について、用瀬としても「自分たちの問題」という意識を持って、もっと深く考え取り組んでいくべき。

(校区審議室・佐治町分室)

今後、関係各所と密に連携しながら、必要な手続きを迅速に進めていきます。

まずは目の前の取り組みに注力し、着実に次の段階へと進むための基盤を整えます。
将来的には「子どもたちのために学校がどうあるべきか」を最優先に、地域の皆さんの協力をいただきながら検討していきます。

(3) JRによる駅舎等の更新について（交通政策課）

資料3により、因幡社駅・用瀬駅の更新について説明

(委員)

私自身、因幡社駅の利用者。駅舎のことは理解したが、敷地内については草が伸び放題で管理されていない。トイレも長く壊れたまま。こういった周辺環境についてJRから何も話はないか。

(交通政策課)

JRから敷地の管理については聞いていませんが、因幡社駅のトイレは撤去する方向とことです。

(委員)

トイレは、新しく作って欲しいと要望を出してもいいか。

(交通政策課)

地域の皆様のご意見について、今後募集する予定です。

JRは民間企業であり、基本的には会社で判断するところですが、公共交通ですので、皆さんの意見を市を通じて伝えていくことになっています。

ただ、因幡社駅は乗り降り1日34人、実人数は17人ぐらいです。これだけ利用者が少ない中でのトイレ新設は難しいと思われます。

(委員)

自分の子どもが、17人のうちの2人の利用者。毎日使っている駐輪場は残して欲しい。

(委員)

駐輪場は、まちづくり協議会で要望して市に新しく作ってもらったもの。

(委員)

駅舎更新に合わせて交通系ICカードの利用可能設備を整備してほしい。

(交通政策課)

交通系ICカードについては順次要望を行っており、ようやく山陰本線の一部で導入されましたが、岩美方面や因美線はまだ未対応のままです。そのため、まずは特急停車駅への優先導入を足がかりとし、そこから段階的にエリアを拡大していくのが現実的な進め方なのではないかと思います。

(委員)

用瀬駅前の駐車スペース奥が、現在網で閉鎖され草が生い茂っている。ここを有効活用することを要望する。この場所が利用できれば、流しびななどのイベント時の利便性が高まる

だけでなく、瀬戸川や飲食街へのアクセスも向上する。

管理面での課題はあるかと思うが、地域の活性化や利便性向上のためにも、ぜひ現場を確認いただき、前向きに検討して欲しい。

(委員)

用瀬駅の中に何かやれる余地があるスペースがあるのは、駅前の賑わいにおいては可能性が広がるので、そういうスペースは残して欲しい。

更新後、どのような形になるのか想像がつかないが、人の行き来を担う町の玄関口として、あまり簡素化した建物にはして欲しくない。

(委員)

用瀬町にはもう1つ「鷹狩駅」があるが、どれくらい利用者数があるか。

(交通政策課)

1日52人です。

(委員)

資料では、駅舎の更新にあたっては「地域の意見をふまえ、駅舎等のデザイン作成、設計の作業を進めます」とあるが、また別に意見集約の場を持つのか、地域の意見はどこまで反映されるのか。

(交通政策課)

JRとしては、できるだけ利用者の方の声もお聞きしたいと言っておられましたので、何か会議体を作るというよりは、例えば駅舎のところにチラシを貼って、QRコードからの意見入力などで集約していくことを考えています。

用瀬には3つのまちづくり協議会がありますが、エリアによって駅という場所の役割や利用者はそれぞれ異なると認識しています。そのため、具体的な進め方や、地域の皆様の意見をどのように吸い上げるかについては、支所とも連携しながら検討していきます。

(4) もちがせ地域未来プラン実施計画（R7実績・R8計画）について

資料にそって説明

⇒(委員) R7実績とR8の計画について了解。

(5) 地域の重点課題検討について

資料にそって重点課題への取組について説明

①Future Seeds Mochigase の令和8年3月22日に植付したラベンダー畑の様子報告

現在は週に1回草取りをやっている。鹿の食害などもあるが、ラベンダーは綺麗に咲いて今が一番の見頃。おそらくお盆ぐらいまでは咲いている。しっかり根もついて、今後は特産品やお土産に繋げていけたらと考えている。

②流しびなの担い手不足と継承体制の構築と空き家の有効活用について、堺地域おこし協力隊より説明。

(委員)

空き家の活用で、地元の赤波に帰ってきた方が民泊を始める予定があると聞いた。
また用瀬に新しい風が吹いてくれたらよいと思う。

(事務局)

インスタグラムで情報発信などもされていると伺っています。新しく事業される方とも連携を取りながらやっていけたらと思います。

③お土産品等開発の具体的な取組推進について

用瀬町総合支所中山間地域振興対策プロジェクトチームの検討内容を説明

◎地域資源を人と呼び込むコンテンツへ

- ・「用瀬の苔」をテーマにした散歩ツアーなど、地域資源を活かした新たな観光の展開
- ・用瀬アルプスのご当地ガチャなどお土産コンテンツ開発の新たな試み

(6) その他

(会長) 買物環境の確保についての報告

用瀬地区内に令和8年8月27日、セブン-イレブンが開店することです。

【次回会議】

8月27日(木) 10時～ 用瀬町総合支所 3階会議室